

経済指標ウォッチャー

米ISM非製造業景況感指数 7月も改善

好況の維持には雇用環境の改善が重要か

ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

2020年7月は16ヵ月ぶりの高水準

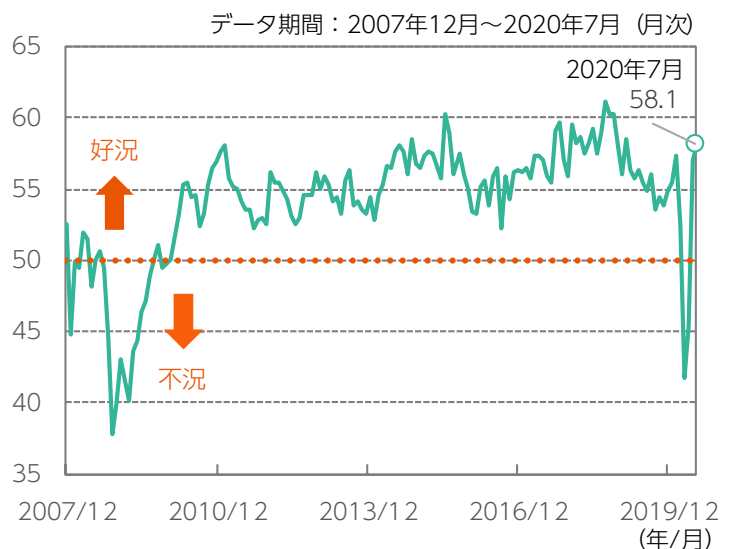
全米供給管理協会（ISM）が8月5日に公表した、2020年7月の非製造業景況感指数は58.1となり、事前の市場予想（55.0）を上回りました（図表1）。好不況の判断の節目となる50を超える水準を2ヵ月連続で維持し、2019年2月以来、およそ16ヵ月ぶりの高水準となっています。

5月下旬以降、全米の各州において段階的に経済活動が再開されたことなどから、6月（57.1）は市場予想を大幅に上回る回復となりましたが、7月も引き続き好況を維持しました。

回復傾向の維持には雇用の改善が重要

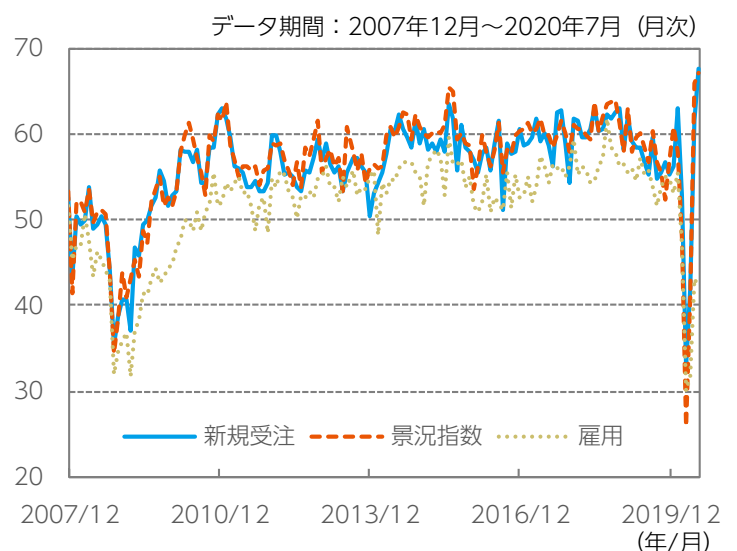
構成指数別では、新規受注が67.7（前月比+6.1）、景況指数が67.2（同+1.2）と、前月から改善となりました。一方、6月に改善が見られた雇用は42.1（同-1.0）と再び悪化しました（図表2）。ロックダウン（都市封鎖）解除による店舗の営業再開等を受け、非製造業の雇用は徐々に回復するものと見られていました。しかし、足元では、感染者数の急増を受け、全米のおよそ6割の州で再び経済活動を制限する動きが広がっており、雇用の先行き不透明感がくすぶり続けています。今後も非製造業の好況を維持するには、雇用環境の改善が重要となりそうです。

図表1：非製造業景況感指数は前月から改善



※ISM非製造業景況感指数の推移

図表2：雇用は再び悪化となる



※ISM非製造業景況感指数（構成指数）の推移

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>